

3年生小論文講演会

7月21日（金）放課後、「3年生小論文講演会」を行いました。

学研アソシエ・学力開発事業部の波多野洋司様を講師にお招きし、「希望進路実現に向けて～小論文採点基準、鳥の目・虫の目、志望理由書の要点」と題して、約90分、お話しいただき、61名の3年生が参加しました。講演の後、個別質問にも多くの生徒が順番を待ち、アドバイスを受けました。波多野先生、熱意のこもった講演をしていただき、どうもありがとうございました。講演会に参加した生徒たちは、「やる気になった」と言っていました。

今後の予定

7月29日（土）第1回小論文模試

8月25日（金）第2期小論文個別指導&第2回小論文模試の申込締切



【生徒の感想より】

小論文の書き方に関すること

- 文章の読み取りで、逆説、言い換えに注目することが大事ということ。
- 「意識していきたい」など、精神論で終わりがちだったので具体策をあげて書かなければいけないとわかった。
- 小論文では読解力が求められる。手書き文字の三原則「濃く、大きく、丁寧に」
- 情報収集の際に1つの情報だけでなく、複数の情報をどれだけ比較して書けるかが大切だということ。反論に対する否定を自分で視点を変えて意見を述べることが大切。
- 小論文に必要なのは類比力、対比力、因果関係を書く力である点。
- ニュースや新聞に目を通すことが大事だとわかった。

受験全般について

- 志望理由を考える大切さや考えて、実際に書くことで形成される覚悟がある点。強い志望理由を持つておくことが大切だと分かった。
- 自分の学びたい学問やこれからのビジョンについて調べることから受験が始まるのが分かった。
- 「調べる」ということが大切だと思った。文学部が第1志望で、どこも同じだと思っていたけど、志望校だけの魅力を見つけきろうと思った。
- 大学に行くことに対して、もっと真剣にならなければいけないと感じた。今のような甘い考えではだめだと分かったから、これから頑張ります。